

消防学校だより

令和5年8月号

発行年月日 令和5年8月31日
発行 宮崎県消防学校

初任科（実務研修）

8月2日（水）～8月5日（土）の間、各所属に戻り実務研修を実施しました。

各所属で、先輩と過ごす実務研修は、初任科生にとって、とても良い経験となりました。真摯に業務に取り組む先輩方の姿や、実務について様々な話を聞いたことで、初任科生それぞれ、自らが消防署で働く際のイメージがつかめたと思います。



初任科（救助訓練）

8月17日（木）、ロープ渡過訓練を行いました。高さ7mでのロープ渡過訓練は初めてで、高さに困惑していましたが、屋内訓練場で行ってきた訓練のとおり安全確実に実施できました。



初任科（救助訓練効果測定）

8月22日（火）、救助用資器材の名称・取扱い、結索など、基礎的な技術が身に付いたか確認をおこないました。



初任科（火災調査）

8月23日（水）、火災調査の授業を行いました。

火災調査は、火災予防を目的として、火災の原因と被害状況を調査し、類似した火災の防止等に役立てられます。損害面積の算定などを学びました。



初任科（VR体験）

8月23日（水）、近年の災害は複雑多様化し、そのひとつひとつを経験することは困難です。VRを利用し災害現場を疑似体験することで現場活動に役立てます。



初任科（救助訓練）

一ヶ所吊り水平担架救助やロープブリッジ渡過、はしごクレーンなど低所救助を含む救助訓練を実施しました。自己の安全を確保しながら、危険に立ち向かう前向きな安全行動が救助業務には必要とされます。そのためには常に技術、体力の向上に努めなければならないことを肝に銘じ、日々の訓練に取り組んでいます。



通信指令研修（専科研修）

8月23日(水)・24日(木)の2日間で、通信指令研修を行いました。

この研修は、通報内容をいち早く簡潔に、また正確に聞き取りながら消防車や救急車などを出動させる業務などを行うための専門性の向上を目的とし、県外の専門講師を招いての講義・訓練を行いました。



無線資格取得講習（特別研修）

8月25日(金)、第三級陸上特殊無線技士資格取得講習を行いました。

取得免許は第三級陸上特殊無線技士で、無線法規、無線工学の講習受講後、試験に挑みました。

受講生41名(初任科生18名、現役職員23名)全員が講習終了後の試験に合格しました。

法規 荒木 米夫講師

無線工学 岡本 範夫講師



初任科（消防活動訓練）

8月31日（木）、元消防職員（宮崎県東児湯消防組合 初任科48期）で柔道整復師 新保 裕仁氏から
1 怪我に対する知識を付ける。2 怪我した場合の対処法を知る。3 消防職員の身体作りのヒントなど、
「怪我の予防と修復」について講義していただきました。自らの身体を、良好に長く維持するために効果のある講義をしていただきました。



9月の主な行事

- 初任科卒業式 9月28日（木）
- 初任科退寮 9月29日（金）

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp